

令和5(2023)年 ハタハタ情報 No.2

令和5年11月7日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2023年10月12～13日に留萌沖の水深195～421mの7調査点でトロールによる漁獲試験を行い、そのうち2調査点で合計3尾のハタハタを採集しました。

- 1歳以上の採集尾数は3尾で、2015年以降では最も低い採集密度でした。
- 年齢組成は2歳が最も多く、次いで3歳であり、体長組成は14～19cm台でした。
- 水温は過去5年(2018～2022年)平均と比較して表層および深度100m前後では同程度、それ以外の水深では1～4.2度ほど低い水温でした。

1. ハタハタの採集状況

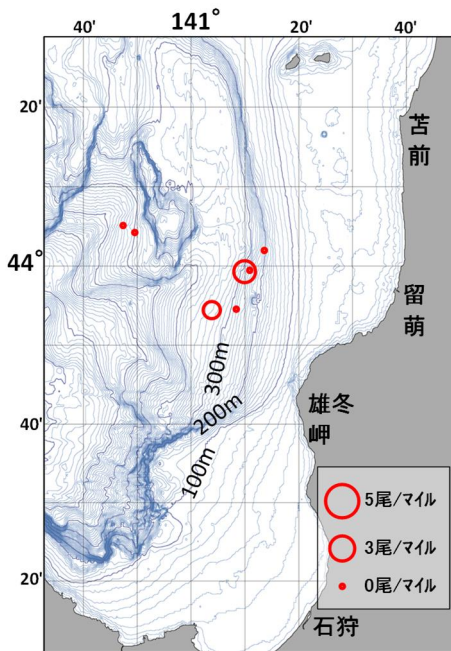


図1 2023年10月のトロール調査によるハタハタ採集密度（1歳以

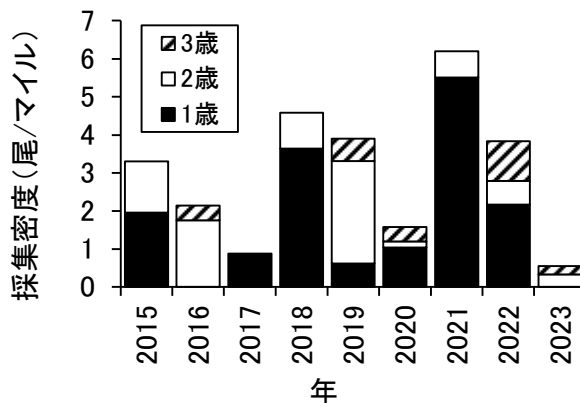


図2 10月のトロール調査によるハタハタ採集密度の経年変化

今回の調査では、留萌沖でトロールを7回曳網し、そのうち2調査点で合計3尾（1歳：0尾、2歳：2尾、3歳：1尾）のハタハタが採集されました（図1）。1歳以上の1マイルあたり採集尾数は平均0.5尾となり、2015年以降では最も低い採集密度となりました（図2）。

2. ハタハタ（1歳以上）の体長と年齢（図3）

今回の調査では1歳以上3尾のうち雄は2尾、雌は1尾でした。雌雄混みの年齢組成は2歳（2021年級）が最も多く、次いで3歳となっていました。体長組成は14～19cm台でした。

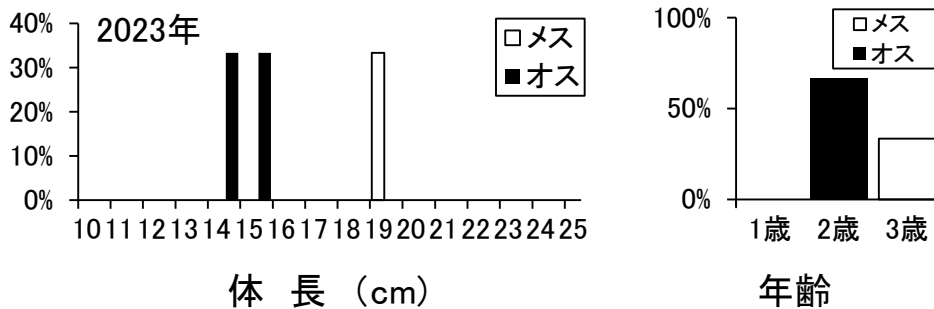


図3 2023年10月の調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成

3. 成熟状態

ハタハタは成熟（生殖巣の発達）が進むにつれ、南下して沿岸にて産卵することが知られています。雌の体重に占める卵巣（ブリコ）重量の割合（GSI）は産卵が近づくにつれて高くなり、沿岸に来遊する頃には40%前後となります。

今回採集された雌のGSIは3歳魚で18.0%であり、前年同様の値でした。データが少ないため9月の調査結果と併せると今漁期の石狩湾前浜への来遊は11月中旬が目安となり、その時期の水温や海況に応じて来遊時期が決まるのではないかと考えられます。

4. 水温（図4）

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖（北緯44度，東経141度）の表層から底層にかけての水温観測結果を，過去5年の平均値と併せて示しました。

今回の調査では，表層および深度100m前後では同程度、それ以外の水深では過去5年（2018～2022年）平均と比較して1～4.2度ほど低い水温でした。

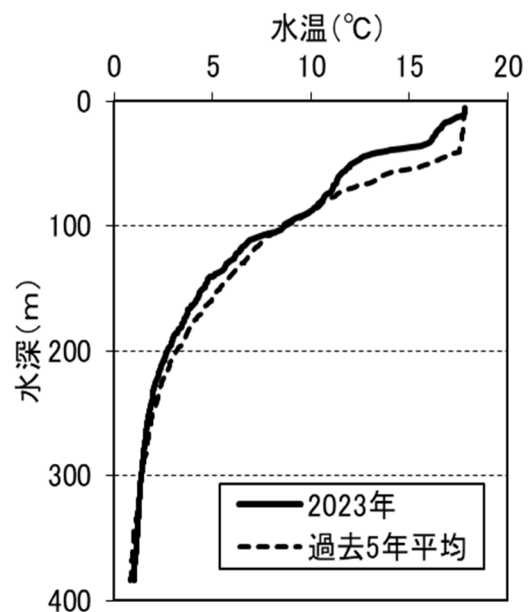


図4 雄冬沖（44° N, 141° E）における10月中旬の鉛直水温

5. 今後の調査など

今年度の留萌沖での調査船によるトロール調査は終了です。関係漁業者の皆様，調査へのご配慮ありがとうございました。今後は，各漁業による漁獲物の標本採集調査などを実施いたしますので，重ねてご協力をお願いいたします。